

ここがわたしの「おもしろい」場面

— 教材文：「名前を見てちょうだい」（東京書籍 二下） —

2年 国語科 9月 30Q 〈10時間〉
 附属新潟小学校 教諭 里村 穰

1 本単元で目指す姿

言葉と言葉を関係付けて読み、物語の山場の様子をとらえる子ども
 具体的には、登場人物に関する言葉の意味に着目し、場面の様子と言葉とを関係付ける「見方・考え方」を働かせ、登場人物に関する言葉を基に、登場人物の行動を具体的に想像する力（②思考力・判断力・表現力）等の資質・能力を発揮して、登場人物に関する複数の言葉を根拠として物語の山場の面白さを表現している姿

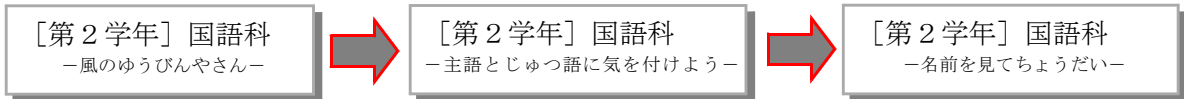
<「おすすめカード」の記述例>

一番おもしろい場面は、大男と出会う場面です。りゅうは、きつねや牛は、えっちゃん
 と会ったときはすましてこたえていたけれど、大男と会ったら風のように走って帰ってしま
 います。けれど、えっちゃんは、きつねや牛とちがって大男と会っても帰りません。き
 つねや牛と会ったときは「へんねえ」とだけ言っていたけれど、大男と同じ大きさになっ
 て、「あたしのぼうしをかえしなさい」とすごく怒って言って、ぼうしをとりもどします。
 このように、大男と出会うことで、えっちゃん、きつね、牛の様子が大きく変わる場面だ
 からです。

2 本単元で育成する資質・能力（評価基準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
国語科	○文の中における主語と述語との関係に関する知識・技能	○登場人物に関する言葉を基に、登場人物の行動を具体的に想像する力 ○文章の中の重要な言葉や文を選び出す力	○目的に応じて読書しようとする態度

3 関連する学習



4 単元の計画

	【学習活動】☆資質・能力	【働き掛け】	Q
国語科 (次)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動に対する意欲を高める。 <ul style="list-style-type: none"> ・「名前を見てちょうだい」のお話を1年生に紹介しよう。 ・「お話BOX」をつくって、ペーパサートで演じたり、一番面白い場面を紹介したりするんだな。 ○ 「どこで・誰が・何をしたか」をワークシートにまとめ、物語の登場人物と場面をつかむ。 ○ 登場人物の紙人形と背景の絵を用いて、音読練習を繰り返す。 ○ 各場面の中から一つの場面を選択して、「お話BOX」に入れる「おすすめカード」の下書きを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 『『お話BOX』をつくり、『名前を見てちょうだい』を1年生に紹介する』という言語活動と、「お話BOX」の基版とを提示する。 ※ 提示後、教材文と出合わせ、文章を繰り返し音読させる。 ◆ ペーパサートで物語を演じる際に必要な登場人物の紙人形と背景の絵を問う。 ※ ワークシートを配付する。 ◆ 登場人物の紙人形と背景の絵をつくらせ、役割読みをさせる。 ◆ どの場面が一番面白いと思ったか、どうしてそう思ったか、どの言葉からそう思ったかを問う。 ※ ワークシートを配付する。 	12Q 4時間
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一番面白い場面は、大男と出会う場面です。どうしてかということ、大男と同じ大きさになったえっちゃんを見て、大男がしばんで見えなくなるところが面白いからです。『ぶるぶるふるえながら、空気のもれる風船のように』という言葉から、そう思いました。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一番面白い場面として大男と出会う場面が選ばれた根拠となる言葉を知り 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 根拠となる言葉を複数提示し、感じた疑問とその理由とを問う。【働き掛け1】 	

言葉の意味に着目した問いをもつ。

○ どうしてその言葉が、この場面の面白さが分かる言葉なのかな。

- ※ 場面の背景の絵を掲示する。
- ※ まず直接的な表現の言葉を示し、次に間接的な表現の言葉を示す。
- ※ 子どもの発言をまとめ、学習課題として板書する。

【学習課題】

どの言葉から、大男と出会う場面のどのような面白さが分かるか。

- 課題解決の見直しをもつ。
★国語科③
- ・「湯気を立てたえっちゃんの体が、また、ぐわあんと大きくなりました」は、えっちゃんがすごく怒っていることが分かる言葉だ。
- ・登場人物の様子が変わったことが分かる言葉が分かれば良いと思う。
- ・大男と出会う場面の面白さが分かる言葉を探すために、もう一度教科書を読みます。
- 文章の文脈に即して言葉を吟味し、場面の面白さを紹介するために必要な言葉を判断する。
★国語科①②、協働性、ツール活用能力
- ・えっちゃんが言った「あたしのぼうしをかえしなさい」は、どうかな。
- ・そうだよね。その言葉から、えっちゃんが大男にすごく怒っている気持ちが分かると思うな。

- ◆ 提示した言葉を分類掲示して分かることを問うた後に、どのような言葉を見付けるか、見付けるためにどうするかを問う。【働き掛け2】
- ※ 提示した言葉を、登場人物ごとに分類して提示する。
- ※ 子どもの発言を受け、分類掲示した言葉をラベリングしたり、分かることをその言葉の付近に書いたりする。
- ※ 必要に応じ、子どもの発言内容の理由を問い返す。
- ◆ 話し合う観点を提示し少人数グループで話し合う場を設定した後、大男と出会う場面の面白さを紹介するために必要な言葉を問う。【働き掛け3】
- ※ 話し合いの観点を提示する。
- ①大男と出会う場面の面白さが分かる言葉はどの言葉か
- ②その言葉から分かることは何か
- ※ 班にイメージマップを配付する。
- ※ 適宜各班へ行き、どの言葉を選んだのか、その言葉から分かることは何かを問うていく。
- ※ 子どもの発言を、整理して板書する。
- ※ その言葉について、同じように考えていたかを全体で確認する。
- ◆ 「おすすめカード」を書く場を設定する。【働き掛け4】

○ 紹介するために、「へんねえ」と「あたしのぼうしをかえしなさい」、「すましてこたえました」と「風のように走ってしまいました」という言葉が必要だと思いました。 ★国語科②

- 判断した複数の言葉を根拠として、物語の山場の場面の様子を表現する。

○ 一番面白い場面は、大男と出会う場面です。理由は、きつねや牛は、えっちゃん与会ったときはすまして答えていたけれど、大男と会ったら風のように走って帰ってしまいます。けれど、えっちゃんは、きつねや牛と違って大男と会っても帰りません。きつねや牛と会ったときは「へんねえ」とだけ言っていたけれど、大男と同じ大きさになって、「あたしのぼうしをかえしなさい」とすごく怒って言って、帽子を取り戻します。このように、大男と出会うことで、えっちゃん、きつね、牛の様子が大きく変わる場面だからです。

- 発揮した資質・能力を自覚する。
- ・登場人物が言った言葉やした言葉を見付けるとよいと分かりました。(①知識・技能)
- ・登場人物の言った言葉やした言葉から、どんなことが分かるのかを考えることができました。(②思考力・判断力・表現力)
- ・面白さが分かる言葉を探して読むことができました。(③態度)
- ◆ 一番面白いと思う場面の様子をとらえることができた理由を問う。【働き掛け5】
- ※ 振り返りシートを配付する。

- 生活班の中で、読み手、聞き手の役割を交替しながら音読練習をしたり、紹介練習をしたりする。
- 「お話BOX」を使い、1年生に物語「名前を見てちょうだい」を演じたり面白い場面を紹介したりする。

- ◆ ペーパーサートで物語を演じたり、「おすすめカード」で一番面白い場面を紹介したりする練習の場を設定する。
- ◆ 1年生との交流の場を設定する。